



神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF GAKUENNTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2022年9月（通巻339号）

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「日々新たなり」 New reforms everyday
- ・国際会長：K. C. Samuel（インド）：
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
Into the next 100 years with FELLOWSHIP & IMPACT
スローガン：「自己を超えて、変化を起こそう」 Beyond Self and Be The Change
- ・アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming（台湾）：
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era
スローガン：「今すぐ実行を」 Doing It Right Now
- ・西日本区理事：田上 正（熊本むさし）：
「原点を知り将来に生かす」 Know the Origin and utilize it in the future!
副題：「立ち上がれ、ワイズモットーと共に！」
- ・六甲部長：若林茂幸（宝塚）：
「困難なときにこそ YMCA と共に進もう」 Let' s proceed with YMCA in difficult times

9月 第1例会

日時：2022年9月15日(木)18:30～20:00

場所：西神戸YMCA学園都市

<プログラム>

- ・開会点鐘
- ・ワイズソング
- ・尺八演奏会 都山流尺八兵庫県支部
塩谷唯山・鹿野萃山・吉見克山・若槻峻山
- ・ハッピーバースデー
- ・報告
- ・閉会点鐘

9月誕生者おめでとう！

- ・杉本隆人（9月5日）
- ・辻本邦子（9月11日）

8月の出席状況

第一例会 12名
(内ゲスト 2名)

事務例会 8名

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：内田邦彦、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治
[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：柴田昌一、交流：田辺征一、辻本邦子、ファンド：
丹家元陽、野呂隆、EMC：田辺征一、広報・プリテン：田辺征一、メネット：合田洋子、
メール委員：杉本隆人

[西日本区役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）

[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結） [DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402、FAX 078-793-7470
第1例会：第3木曜日、事務例会：第1木曜日、

会 長 通 信

会長 杉本隆人

今期テーマ「日々新たなり」

日に新たにということですが、私たちは、毎日毎日、同じことを繰り返しているように思われます。今日は昨日の繰り返しであり、毎日今日の繰り返しであり、まことに単調な、まことに平凡な生活のように思われます。

しかし、もし毎日毎日が単なる繰り返しの連続にすぎないものとしますと、私たちの人生には何の希望もなく、全く意味のないものとなってしまいます。いやしくも、繁栄を願い平和を思い、そして幸福を望むのであれば、私たちの生活は単調な繰り返しであってはいけないと思うのです。

これを打開するのには、3感を持ち続けてもらい、今日より明日の自分の変化を楽しみましょう！！

1つ目、感心を持ってください。何事でも構いません。グルメでもお酒でも趣味、スポーツ、文学、自分自身が一番興味あるものなら何でも構いません。

2つ目、感動を体験して下さい。他人の目など気にしないで、いいな～と思ったら素直に喜び、笑い、時には感動した涙をながしましょう。そして最後の3つ目は、感謝をすることを忘れないようにして下さい。知り得たこと、学んだこと、感動したことに感謝すること。出来れば、口にだして「ありがとう」を唱えてください。

これを日々実践して、日々新たなりということを経験して、小さなことから結構ですので、是非実践してみてください。きっと、きっと明日という日が楽しみになり、わくわくした気持ちとなり、日々新たなりにチャレンジ！！

< 8月例会報告 >

日時：2022年8月18日（木）18:00～19:30

場所：西神戸YMCA

出席：内田、合田、櫻井、柴田、杉本、田辺、中村、野呂、森本

8月の卓話は柴田ワイズが人生の師とも仰ぐ元兵庫県警・警部補の横田敏男氏でした。氏は14

年前に退職されるまで長年暴力団取り締まり担当の仕事をしてこられ、いわゆる「ヤクザ（俗称893）の世界」に詳しい方です。

暴力団の組織図をもとにお話をされたが、娑婆（しゃば）に住む我々には目新しいことばかり。組長以下、組員の数は大きな暴力団で1万人、彼らの関係は上下・左右いくつにも分かれており、その間の関係は極めて厳格とのこと。印象に残った言葉は「彼らは顔で生きている」、「借りを作ることを極端に嫌う」、「お年玉は子分（子）が親分（親）へ渡す」など、ヤクザ特有の価値観についても知ることができた。

横田氏が彼らと接するときのドスのきいた迫力のある声も話の中で耳にすることができたが、さすが、すごい！ あの声でどなられたら誰でも縮こまざるを得ないでしょう！！これまで平々凡々に生きてきた者でよかった、と思われられたひと時でもありました。

（田辺征一）



横田敏男さん

< 9月事務例会報告 >

日時：2022年9月1日（木）18:00～19:35

場所：西神戸YMCA

出席：内田、合田、櫻井、柴田、杉本、田辺、丹家、中村、野呂、森本

1. 報告事項

(1) わいわいまつり企画書提出

8月22日 餅つきの日

(2) 留学生支援活動 9月5日 12:30 対面での手渡し決定

(出欠確認；田辺、中村、杉本 以上3名で行う)

(3) 臨時代議員での議案はがき投票 “賛成” にて提出し受理された。

(4) 9月例会打ち合わせを若槻氏と本日行
いました。チラシ掲示方法

(5) わいわいまつり実行委員会

9月12日開催予定の委員会で決定される
抽選券販売・イベント中止の場合の協賛方
法について 飲食のブースおよび餅つきは
中止となる。今後の協働の在り方は12日
で

2. 協議事項

(1) 西日本区部会開催予定・事前申し込み
(下表参照)

六甲部部会：柴田、田辺、杉本の3名申し
込みのみ、他の部会出席なし

(2) わいわいまつりの件：餅つきは中止
今後は12日委員会で決定

(3) ローンボウルズの件：

田辺、中村、杉本、合田が参加

(4) ブリテンの<メンバーズコーナー>への
投稿について

9月号 田辺、11月号 合田、12月号
櫻井、3月号 野呂、5月号 中村

(5) メネット事業 アフガニスタンへの
ランドセル寄贈の件 田辺 2個

(6) 阿部信太郎氏が亡くなった情報の件
現状を報告

3. YMCA報告

特になし。

メンバーズコーナー

<ワイズのモットーから思うこと>

ワイズメンとして大切なモットー、それは
「強い義務感を持つ 義務はすべての権利
に伴う」です。ロースタの冒頭に高々と掲げら
れています。

現在、SNS上で誹謗中傷により多くの人
が傷つき、時にはその人を死にまで追いや
ることが社会問題となっています。大阪
ではインターネット上の誹謗中傷や差別
等の人権侵害のない社会づくり条例を制
定し、府民の誰もが加害者にも被害者
にもならないようにすることをめざして
います。

一方、規制は憲法に保障された「表現
の自由」に抵触するとの意見もあります。
しかし、「表現の自由は国民の“権利”
であるから、何を言ってもよい！」とい
うことではないと思います。そこには
自ずと“義務”が伴うことをワイズ
のモットーは示しています。

この場合、義務とは何か？ それは、
他への配慮であり、他の人権を傷つ
けないことです。与えられた役割に最
善を尽くすことが「強い義務感」であ
ることは勿論ですが、強い自己規制
が求められる場合もあります。これ
もまた「強い義務感」と言えます。

米国で議論されている銃規制も同
様のことが言えます。開拓時代から
続いてきた市民の意識「自分の命は
自分で守る」から生まれた銃保有は
国民に保障された権利というのが多
くの米国民に定着した考えと言われて
います。→

西日本区部会開催予定

部	日時	場所	会費	〆切	備考
京都	9月3日	ウイスティン都ホテル	10,000	7/31	
九州	10月1日	花畑御殿 城見楼	10,000	9/12	
中西	10月8日	ANA プラザホテル大阪	10,000	8/31	
西中国	10月29日	広島 YMCA 国際文化 H	10,000	9/12	
六甲	11月12日	宝塚ホテル	10,000		
阪和	9月17日	大阪・奈良・和歌山及び リモート	1,000 2,000	会場	

***瀬戸山陰部の情報は、確認出来ず。現在、確認中

言うまでもなくこの場合も銃保持の権利には義務が伴う。それは、自己保身以外には使ってはならないという義務です。しかし、すべての人がこの義務に従えるものではなく、乱射事件を含めて米国では1日に平均100人、年間4万人近くの人が、銃で命を落としているとのこと。それがゆえに、米国では、今、大統領が率先して銃規制をやろうとしています。保守派の反対などで思うように進まず、問題の根は深いようです。

(田辺征一)

聖書の小窓

「見たい自分がそこにいるか」

「鏡に映った自分の姿を眺めても、立ち去ると、
それがどのようであったか、すぐに忘れてしまいます。」

ヤコブの手紙 1章 24節

倫理感を高める方法として「ミラー・テスト」という簡単な方法を聞きました。毎朝、洗面台の前に立ったとき、鏡の中に「見たい自分がそこにいるか」を問うことだそうです。毎朝自分の姿をそこに映し出し、振り返りの時をもつことができればと思います。鏡の中から自分の生き方、あり方はどうかを問われます。私はそれに加えて自分の子どもたちにとって「見られたい自分がそこにいるか」と問います。それも大切だなと感じます。

聖書は「神様の言葉を聞いて実践する」ということを勧め、「み言葉を行う人になりなさい」と述べます。その中で鏡のたとえを出しています。み言葉を聞いて行わない人は、鏡に映った自分の姿をすぐに忘れる人といえます。あるべき姿を映してもそれが実践できなければ、み言葉を行なったことにならないというのです。鏡の中に今日も「見たい自分がそこにいるか」を問うことは、自分自身としてふさわしい生き方をしているかを吟味することでもあります。ワイズメンとしては鏡にどう映っているでしょうか。

西日本区チャプレン 立野 泰博